

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	おだわら諏訪の原公園
指定管理者		緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体
指定期間		H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課		都市公園課（ 県西土木事務所小田原土木センター ）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

施設の魅力を最大限に発揮するため、提案どおり取組みを実施し適切な維持管理を行っている。来園者数も上向きとなっており、収支状況にも問題は無い。苦情や要望の対応状況にも問題が無いことからB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月25日	○	○	○	無	
5月	6月8日	6月25日	○	○	○	無	
6月	7月9日	7月27日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月29日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月24日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月22日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	設置目的をふまえた管理運営について ・公園独自のホームページの充実 ・公園パンフレットの作成と地域広報	ホームページは随時適切に更新されている。 公園パンフレットは隔月発行され、配布エリアを随時広げている。 認知度は徐々に上昇しており来園者の増加に繋がっている。
2	利用者や地域住民等に配慮した管理運営について ・地域密着型のイベントの実施。 ・イベント実施時の周辺への周知。	地元のボランティアを積極的に受入れ、地域参加型した公園運営を実施している。 イベント実施前に回覧板や広報誌を利用し周辺住民への周知を行い、円滑にイベントを実施している。
3	環境に配慮した管理運営について ・健全な緑地の保全・育成の推進。	やまゆり等の花を植栽し、園内な緑地の育成に励んでいる。 公園整備前からある樹木についても、小田原土木センターと協力し積極的に保全に努めている。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		60,200	—	—	60,200	60,200	0
予算額	前年度	60,100	—	—	60,100	60,100	0
	上半期	31,473	—	—	31,473	31,473	0
	下半期	28,627	—	—	28,627	28,627	0
	今年度	70,040	—	—	70,040	70,040	0
	上半期	33,390	—	—	33,390	33,390	0
	下半期	36,650	—	—	36,650	36,650	0
上半期実績額	4月	5,121	—	—	5,121	5,852	▲ 731
	5月	5,606	—	—	5,606	5,918	▲ 312
	6月	5,666	—	—	5,666	5,003	663
	7月	5,806	—	—	5,806	5,394	412
	8月	4,363	—	—	4,363	5,230	▲ 867
	9月	6,828	—	—	6,828	5,979	849
	今年度 上半期合計	33,390	—	—	33,390	33,376	14
	前年度 上半期合計	31,473	—	—	31,473	30,695	778
	対前年度上半期比				6.1%	8.7%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	798	園内 倒木処理工（798千円）
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	11,277 人	8,981 人	25.6 %
5月	12,680 人	9,300 人	36.3 %
6月	7,199 人	5,362 人	34.3 %
7月	5,079 人	4,491 人	13.1 %
8月	4,949 人	4,882 人	1.4 %
9月	4,230 人	5,039 人	▲ 16.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	32,000 人	45,414 人	38,055 人	42.0 %	19.4 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	様々な媒体を利用し広報活動を行っており、緩やかではあるが来園者が増加している。特に今年度は、地元企業が運営するHPや子育て情報サイトで紹介されたことが、平日の親子利用者増加に繋がっている。
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	9 (0)	21 (0)	0 (0)	5 (0)	168 (0)	203 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	遊具を増やして欲しい。	整備途中であることを要望者に説明した。
	水飲み場が少ない。休憩できる場所が少ない。	指定管理者で作成したベンチ等を追加し、水飲み場の設置要望は県に伝えた。
職員対応		
事業内容		
その他	多目的広場の自転車利用及びペットの利用について。	園内放送を利用し、利用規則の周知徹底及び指導を行なった。

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
4月1日	ローラー滑り台で滑走中に利用者の履物が引掛り停止し、後方から滑走してきた利用者(友人)が追突した。	通報を受け負傷者を確認し救急車を手配。その後小田原土木センターへ報告。 後日、指定管理者からの注意看板を増設した。	滑り台利用時の注意事項が掲示されていたが、更に強化した。なお、指定管理者の事後対応は適正であった。
8月8日	監視員が対象年齢等について説明した後に、保護者が同伴し滑走。滑走中に前方の利用者(子)が停止し、後方から滑走してきた利用者(親)が追突した。	指定管理者が異常を発見し応急手当を施す。	滑り台利用時の注意事項が掲示されており、監視員による注意喚起も実施されているが、利用者が注意事項を守らないため、事故が発生している。なお、指定管理者の事後対応は適正であった。

9 随時モニタリングの実施状況

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
4月2日 (4月1日)	事故の発生原因と、怪我の状況について聞き取り。	注意喚起の看板を増設するとともに、監視員からの注意喚起を強めることを確認。
8月8日 (8月8日)	事故の発生原因と、怪我の状況について聞き取り。	監視員からの注意喚起は行われているため、引続き継続するよう確認した。
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>今期はインターネットを利用した広報活動に注力した結果、利用者の増加が見られ、今後も更に広報活動が充実するよう指導していく。</p> <p>イベントは昨年に続き好評で、利用者の増加に繋がっている。</p> <p>ローラー滑り台での事故が発生しているが、利用者が注意事項を守らないために発生しているものである。しかし、事故が発生しないよう利用方法の周知を更に強化するよう指導していく。</p>
